

令和6年度の施策の強化の方向性

施策の柱	施策	R5目標に対する実績及び現状・課題	分析	R6の強化の方向性																				
1 スポーツ参加の拡大	子どものスポーツ環境づくり	<p>【R5目標に対する実績】</p> <table border="1" data-bbox="450 384 1370 639"> <thead> <tr> <th>R5目標</th> <th>実績</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①子どものスポーツ環境づくりについて関係者が連携して対応する体制をつくり取り組んでいる市町村の数：14市町村</td> <td>14市町村</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>②広域で連携した取組が展開できているエリアの数：2エリア</td> <td>0エリア</td> <td>D(A)</td> </tr> <tr> <td>③子どもの体力・運動習慣の向上：小中学生の男女とも全国平均を上回る</td> <td>※12月公表</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>【現状・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和5年度に新たに実施している「子どものスポーツ環境整備事業」における市町村ごとの取組では、スポーツ体験会などスポーツを始めるきっかけづくりを行う取組が多いが、スポーツを継続させる取組が少ない ●広域で連携する取組については、8月から6エリアで促進委員会が立ち上がり、エリアごとの課題やニーズ等に対応する 	R5目標	実績	評価	①子どものスポーツ環境づくりについて関係者が連携して対応する体制をつくり取り組んでいる市町村の数：14市町村	14市町村	A	②広域で連携した取組が展開できているエリアの数：2エリア	0エリア	D(A)	③子どもの体力・運動習慣の向上：小中学生の男女とも全国平均を上回る	※12月公表	-	<ul style="list-style-type: none"> ●市町村において、どのような環境づくりを行うことが必要か、またはできるのかについて、地域の実情に関する情報が不足しているため、具体的な対策につなげにくい →情報の収集については、R5.9月に子どもの運動やスポーツに関する調査を行う ●子どもの環境づくりについて、一定の方向性を具が示す必要がある 	<p>■ 子どものスポーツ環境づくりを行う市町村事業の充実</p> <p>○子どものスポーツ環境づくりにおいて、整備する具体的な場を明確にし、市町村の取組を支援する</p> <p>（・楽しくスポーツに出会う場 ・自分にあったスポーツを見つける場 ・スポーツの専門的な能力を高める場 等）</p>								
	R5目標	実績	評価																					
①子どものスポーツ環境づくりについて関係者が連携して対応する体制をつくり取り組んでいる市町村の数：14市町村	14市町村	A																						
②広域で連携した取組が展開できているエリアの数：2エリア	0エリア	D(A)																						
③子どもの体力・運動習慣の向上：小中学生の男女とも全国平均を上回る	※12月公表	-																						
障害者がスポーツに親しめる環境づくり	<p>【R5目標に対する実績】</p> <table border="1" data-bbox="450 919 1370 1246"> <thead> <tr> <th>R5目標</th> <th>実績</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①障害者がスポーツ活動ができることができる団体数：29団体</td> <td>27団体</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>②障害者スポーツセンターと連携し地域の活動支援を行う体制ができているエリアの数：2エリア</td> <td>1エリア</td> <td>D(A)</td> </tr> <tr> <td>③発掘の取組により中央競技団体に登録した選手数：5人</td> <td>0人</td> <td>D(B~A)</td> </tr> <tr> <td>④中央競技団体への登録者数：198人</td> <td>※年度末に集計</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑤誘致した大会数（R5からの累積数）：1</td> <td>1</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>⑥公認パラスポーツ指導員有資格者数：211人</td> <td>217人</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>【現状・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●障害者がスポーツ活動できる場が少なく、高知市周辺に集中している ●地域において障害者のスポーツ活動を支援する体制がまだ十分でない ●障害者スポーツ選手を発掘・育成・強化する仕組みが確立されておらず、選手をサポートする体制が不十分 	R5目標	実績	評価	①障害者がスポーツ活動ができることができる団体数：29団体	27団体	B	②障害者スポーツセンターと連携し地域の活動支援を行う体制ができているエリアの数：2エリア	1エリア	D(A)	③発掘の取組により中央競技団体に登録した選手数：5人	0人	D(B~A)	④中央競技団体への登録者数：198人	※年度末に集計	-	⑤誘致した大会数（R5からの累積数）：1	1	A	⑥公認パラスポーツ指導員有資格者数：211人	217人	A	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者が活動できる具体的な場を増やすことが必要だが、場づくりに向けて、役割やネットワークが明確になっていないため、取組が進みにくい ●障害者のスポーツ活動を支援する体制づくりにつなげるため、健常者と障害者が一緒に活動ができる機会を増やすことが必要 ●競技力向上をサポートする体制が十分でないため、個別の課題への対策が後手になりやすい 	<p>■ 地域における障害者のスポーツ活動の受け皿づくりの推進</p> <p>・地域の関係者が連携する取組を促進</p> <p>■ 地域におけるインクルーシブなスポーツ活動の推進</p> <p>■ 障害者スポーツ選手を発掘・育成する取組の強化</p>
R5目標	実績	評価																						
①障害者がスポーツ活動ができることができる団体数：29団体	27団体	B																						
②障害者スポーツセンターと連携し地域の活動支援を行う体制ができているエリアの数：2エリア	1エリア	D(A)																						
③発掘の取組により中央競技団体に登録した選手数：5人	0人	D(B~A)																						
④中央競技団体への登録者数：198人	※年度末に集計	-																						
⑤誘致した大会数（R5からの累積数）：1	1	A																						
⑥公認パラスポーツ指導員有資格者数：211人	217人	A																						

令和6年度の施策の強化の方向性

施策の柱	施策	R5目標に対する実績及び現状・課題	分析	R6の強化の方向性												
1 スポーツ参加の拡大	指導者の育成及びマッチング	<p>【R5目標に対する実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R5目標</th> <th>実績</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①有資格指導者の数： ・日本スポーツ協会競技別指導者資格：1,448人 ・日本パラスポーツ協会指導員資格：211人</td> <td>※10月に公表 217人</td> <td>- A</td> </tr> <tr> <td>②高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数 ：200人以上／毎年</td> <td>14人</td> <td>D(A)</td> </tr> <tr> <td>③全高知チームによる実践研修の実施：15競技</td> <td>12競技</td> <td>C(A)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【現状・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●有資格のスポーツ指導者を養成する取組により、有資格者は着実に増加しているが、さらに増やす必要がある ●運動部活動の地域連携・地域移行などに伴い、地域のスポーツ指導者の確保が今後さらに求められる ●スポーツ少年団の活動などでは、コーチを引き受ける人材の確保に苦慮している ●指導者資格を取得することで、適切な指導に関する基本的な知識や技術は学ぶことができるが、スポーツ指導者には多様な資質が求められている 	R5目標	実績	評価	①有資格指導者の数： ・日本スポーツ協会競技別指導者資格：1,448人 ・日本パラスポーツ協会指導員資格：211人	※10月に公表 217人	- A	②高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数 ：200人以上／毎年	14人	D(A)	③全高知チームによる実践研修の実施：15競技	12競技	C(A)	<ul style="list-style-type: none"> ●市町村では定期的にスポーツ指導者に関するニーズを把握したり、スポーツ指導者をマッチングする仕組みがないことから、地域におけるスポーツ指導者の育成・確保を効果的に行うためには、県やスポーツ関係団体のサポートが必要 ●幼児期や小学校低学年を対象とした活動に対応できる指導者の育成が必要 ●有資格者の養成講習会では「スポーツの楽しさや魅力を伝えるための手立て」などを学ぶ内容はあまり設定されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ■市町村が行う子どものスポーツ活動に関わる指導者等の発掘・育成の支援 ■スポーツ指導者やスポーツを支える人材を対象とした研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・既存の有資格者養成講習だけでなく、特に幼児期や小学生への指導の充実に向けた多様な研修の場を提供
R5目標		実績	評価													
①有資格指導者の数： ・日本スポーツ協会競技別指導者資格：1,448人 ・日本パラスポーツ協会指導員資格：211人		※10月に公表 217人	- A													
②高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数 ：200人以上／毎年	14人	D(A)														
③全高知チームによる実践研修の実施：15競技	12競技	C(A)														
2 競技力の向上	選手や指導者の県内企業への受入れ	<p>【現状・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●選手や指導者を県内に受入れる仕組みがないため、優秀な人材が県外に就職するケースが見られる 	<ul style="list-style-type: none"> ●地元で就職を希望し、国民体育大会などへ高知県代表として継続して出場する意欲がある本県出身選手は一定数いる ●企業側も、スポーツ選手の受け入れには理解・ニーズがあるものと推測 	<ul style="list-style-type: none"> ■有望な選手や指導者を県内企業等に受け入れる仕組みの構築 												

令和6年度の施策の強化の方向性

施策の柱	施策	R5目標に対する実績及び現状・課題	分析	R6の強化の方向性												
3スポーツを通じた活力ある県づくり	スポーツツーリズムの推進	<p>【R5目標に対する実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R5目標</th> <th>実績</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①プロ・トップスポーツの誘致による県外からの入込客数 ：40,000人</td> <td>11,386人</td> <td>D(A)</td> </tr> <tr> <td>②アマスポーツの誘致による県外からの入込客数 ：6,000人</td> <td>2,742人</td> <td>D(A)</td> </tr> <tr> <td>③スポーツ大会等による県外からの入込客数：17,000人</td> <td>8,198人</td> <td>D(A)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【現状・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プロ誘致：スポーツ施設の老朽化対応、宿泊施設の確保、野球、サッカー以外の誘致（多種目化）が必要 ●アマ誘致：受入地域が限定的、合宿時期の分散化、市町村との連携強化が必要 ●大会等：インバウンドが拡大するなか、スポーツやアクティビティによる需要の取り込みに向け、地域の魅力の磨き上げ、誘客につながる大会誘致など、戦略的な取組が必要 	R5目標	実績	評価	①プロ・トップスポーツの誘致による県外からの入込客数 ：40,000人	11,386人	D(A)	②アマスポーツの誘致による県外からの入込客数 ：6,000人	2,742人	D(A)	③スポーツ大会等による県外からの入込客数：17,000人	8,198人	D(A)	<ul style="list-style-type: none"> ●プロ誘致は、施設整備や宿泊施設の状況を鑑み、受入キャパに応じた対応が必要。他方、スポーツ教室など選手との交流を通じた、競技力向上や、子供達に夢や希望を与えるスポーツの力を推進していく取組の強化が必要 ●アマ誘致は、地域の受入体制の整備や、地域の強みを活かした競技種目の誘致に向けた取組が必要 ●本県の強みである豊かな自然、食、歴史、文化との親和性の高い、サイクルツーリズムの取組が効果的。特に本県の大型客船の増、台湾国際チャーター便をはじめとするインバウンドの取り込みは効果が期待出来る 	<ul style="list-style-type: none"> ■プロ・トップチームとの交流事業の拡大 ■地域でのスポーツツーリズムの取組強化に向けた人材の育成 ■スポーツツーリズムを通じたインバウンドの取組強化 ■本県の強みを活かしたサイクルツーリズム施策の展開
	R5目標	実績	評価													
①プロ・トップスポーツの誘致による県外からの入込客数 ：40,000人	11,386人	D(A)														
②アマスポーツの誘致による県外からの入込客数 ：6,000人	2,742人	D(A)														
③スポーツ大会等による県外からの入込客数：17,000人	8,198人	D(A)														
3つの柱に横断的に関わる施策	スポーツにおけるデジタル技術の活用	<p>【R5目標に対する実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R5目標</th> <th>実績</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①リモートによる活動への参加者数：8,286人</td> <td>4,147人</td> <td>D(A)</td> </tr> <tr> <td>②「スポーツNAVI」のページビュー数：79,880</td> <td>26,544ビュー</td> <td>D(A)</td> </tr> <tr> <td>③「スポるKOCHI」のセッション数：7.3万セッション</td> <td>33,671セッション</td> <td>D(A)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【現状・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●リモート機器の活用が施設や地域によって偏りがみられる ●スポるKOCHIの利用者数/日は200人で推移（目標を達成） 	R5目標	実績	評価	①リモートによる活動への参加者数：8,286人	4,147人	D(A)	②「スポーツNAVI」のページビュー数：79,880	26,544ビュー	D(A)	③「スポるKOCHI」のセッション数：7.3万セッション	33,671セッション	D(A)	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、地域のスポーツクラブなどにおいては、対面での活動が増えてきたことにより、リモートの活用の必要性が下がっている ●遠隔地をつなぎ、参加者の負担を軽減する取組を広げるなど、リモートのメリットを捉えた取組の検討が必要 ●スポるKOCHIの記事やイベント情報の充実、回遊性を高めるためのwebレイアウトの工夫が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ■リモート機器の効果的な活用の促進 ■情報発信の強化
	R5目標	実績	評価													
①リモートによる活動への参加者数：8,286人	4,147人	D(A)														
②「スポーツNAVI」のページビュー数：79,880	26,544ビュー	D(A)														
③「スポるKOCHI」のセッション数：7.3万セッション	33,671セッション	D(A)														
	多様な関係者との連携	<p>【協定締結の実績】</p> <p>①パナソニックスポーツ(株)〔R3.12月〕、②大阪体育大学〔R4.3月〕、③(株)阪神タイガース〔R4.9月〕、④PERF(株)〔R5.2月〕 ⑤高知リハビリテーション専門職大学〔R5.4月〕、</p> <p>【現状・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●R3年～R5年にかけて複数の団体や企業と連携協定を締結し、協定に基づく取組を進めているが、まだ内容が限定的 	<ul style="list-style-type: none"> ●5つの団体と県との連携による取組が多く、市町村や県内の他の団体との連携や、他分野の連携まで広がっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ■連携協定による多様な連携事業の推進 												